

福井大学病院だより 第8号

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-12-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10098/9279



第8号

福井大学病院だより



FS77921/QJ00469/ISO9001:2000

平成18年8月

福井大学病院の近況について

福井大学医学部附属病院長

上田 孝典



残暑厳しき日々が続きますが、皆様には如何お過ごしでしょうか。この半年間の福井大学病院の主な動きを御紹介致します。

最初に私事で恐縮ですが、私の任期は本年3月で満了でしたが、教授会にて再任の御指示を頂き、あと2年間つとめさせて頂くことになりましたので、どうぞよろしくお願い申し上げます。執行部体制もほぼ一期目を踏襲し、さらなる飛躍・向上を目指したいと思っております。

さて、4月には、懸案であった臓器別診療体制がスタートしました。特に内科・外科は、従来の第一内科、第一外科などのナンバー方式から神経内科、消化器外科などにあらため、17診療科から25診療科へ充実した診療体制を組みましたので、御紹介、御受診頂く時よりわかりやすく感じて頂けることと思います。

また新しい医療情報システムを導入し、5月中旬からは電子カルテを本格的にスタートしました。現在、導入時の若干の混乱から次第に安定してきており、今後、クリニカル・パスの導入などで、十分、そのメリットが実感出来るようになればと思っています。

昨年12月より人手不足で、緊急・時間外の手術を中止し厳しい状況にあった麻酔科蘇生科ですが、4月より重見研司教授を迎え新体制となり、教授の出身の京都府立医科大学麻酔科や本学同門会員などの非常勤の応援も次第に増加し、また病院としても麻酔科の要請に応え内科も含め全学的に支援する体制を組み、円滑な手術体制が確立して来しました。

どうか学外の皆様には本学の手術麻酔について御安心頂ければと存じます。

5月には、北陸では初めての前立腺がん密封小線源治療が泌尿器科で開始され、一回のみで副作用も少なく手術の必要もない癌治療がスタートしました。また、8月後半よりは、老朽化していた血管造影装置を最新の機器にリニューアルしましたので、より安全で質の高い造影検査や治療が、脳・心臓・腹部を問わずお受け頂けると思えます。

また従来の栄養管理室を4月より栄養部として独立させ、栄養面の指導・サービスの強化をはかりました。輸血業務の輸血部による24時間全面管理も輸血部・検査部の協力により5月にスタートし、一層安全な体制が可能となりました。

経営についての御報告としては、平成17年度の病院決算が明らかとなりました。一昨年度に比べ約5億円の収納額増収を達成し、大学病院に課せられている経営改善係数をクリアし、順調に推移しました。しかし、今年度は、上述した経営改善係数に加え、診療報酬基準の改訂により、1.9億円の減収が見込まれる厳しい年となります。また看護基準も、この改訂により、従来の10:1看護より7:1看護が要求され、約40名の看護師の増員が必要となり、今、看護部を中心に、懸命の努力が続けられている所です。

最後になりますが、福井大学病院では病院の質を評価するものとして、国立大学病院では2番目に、ISO9001:2000という国際規格の認証を3年前に受けています。今回、3年毎の更新審査が行われ、管理責任者である

佐野歯科口腔外科教授を中心とした尽力により高い評価を得て、審査をクリアしたことを御報告致します。これからも、“最高・最

新の医療を安心と信頼の下で”の理念を実現すべく一層の努力を続けてゆきたいと存じます。

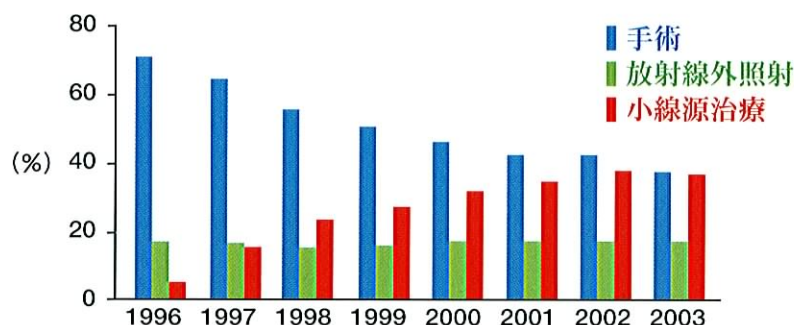
前立腺ガンを切らずに治す密封小線源治療

泌尿器科 大山伸幸、放射線科 塩浦宏樹

前立腺ガンの患者様が増えています！

最近、新聞やテレビでも耳にすることが多くなってきた前立腺ガン。海の向こうのアメリカでは、前立腺ガンは男性のガン罹患率のなんと第1位で、「アメリカ人男性の6人に1人が生涯のうちに前立腺ガンと診断される」と言われており、前立腺ガン自体が深刻な社会問題にまでなっています。日本でもこのところ前立腺患者数は急上昇してきており、2001年には約7600名の方が前立腺ガンで死亡されています。統計では2020年には前立腺ガンに罹患する方は年間78468名に達すると予想されており、その数は2000年の患者数の実に3倍にも上ります。また、天皇陛下もこの病気です手術をお受けになったことはまだ記憶に新しいと思います。このような前立腺ガン急増の原因としては、日本人の平均寿命が長くなり高齢者の数が増えていることに加えて、食生活の欧米化が挙げられます。また、簡単な血液検査PSA(前立腺特異抗原)で、前立腺ガンの疑いのある方を見つけることができるようになったことも一因と考えられています。

米国における前立腺がん根治治療法の推定割合(1996～2003)

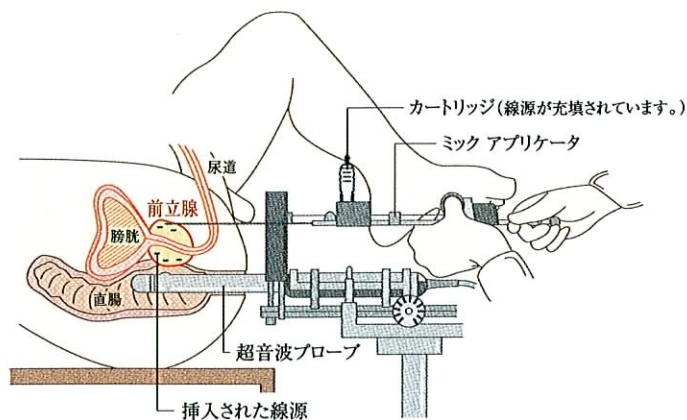


北陸初！福井大学病院でも前立腺小線源治療が可能になりました！

前立腺小線源治療とは放射線治療法の一つで、アメリカではすでに15年以上の歴史があります。その治療方法は、前立腺の中に小さな放射性物質（ヨウ素125線源）を挿入し、ガン細胞を死滅させるもので、アメリカでは毎年50000人以上の方がこの治療を受けています。日本では、2003年7月に厚生労働省の認可が下り、2006年6月現在、全国約50施設で小線源治療が可能になっています。福井大学病院では、2006年5月より小線源治療を開始し、北陸地区では初めての前立腺小線源治療ができる病院となりました。

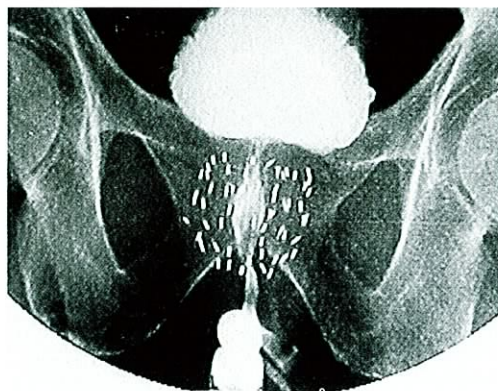
前立腺小線源治療ってどんなことなの？

前立腺ガンの治療には「ヨウ素125」という種類の線源を用います。この線源は非常に小さく長さが4.5mm、直径は0.8mmの金属カプセル構造をしています。肛門から挿入した超音波検査装置で前立腺を観察しながら、この小さなカプセルを陰のうと肛門の間の皮膚に針を刺して前立腺に埋め込みます。このカプセルの中のヨウ素125から放射線が前立腺に照射されて、ガン細胞を死滅させます。放射線量は次第に弱くなり、留置後約1年でほとんど放射線はなくなります。カプセルから照射される放射線量は非常に弱いため、治療後に周囲の方に与える影響はほとんど無視できます。したがって、治療後もこれまで通りの日常生活が可能です。



日本臨床増刊号(前立腺疾患の臨床)2002年より一部改変

小線源挿入の実際



小線源挿入後のレントゲン写真

前立腺小線源治療の特徴は？

①切らずに治します！

小線源治療は前立腺にカプセルを埋め込むだけで、ガンを切らずに治療します。

②短い入院期間！

手術ですと3週間程度の入院、放射線外照射では6週間の外来通院(週5回)が必要です。一方、この小線源治療ではわずか3泊4日です。また、退院後も2-3ヶ月に1度の通院ですみます。

③少ない合併症！

短期合併症として、カプセル挿入直後は血尿を一時的に認めます。長期合併症としては、手術では70-80%に起こるとされる性機能障害ですが、小線源治療では30%程度に抑えられます。また、尿失禁もほとんど起こしません。

④手術と同等の治療効果！

アメリカでの10年を超える治療成績から、小線源治療はPSA再発率において手術療法と差がないことが明らかになりました。

こんな方に小線源治療をお勧めしています

ガンが前立腺内に留まっていて、PSAが10ng/mL以下、組織検査で高分化ガンと診断されている方は小線源治療のみで高い根治率が期待できます。PSAが10ng/mL以上、中分化ガンの方でも、放射線外照射療法や内分泌療法を併用することで、小線源治療が可能です。また、75歳を超える高齢者の方、心臓などに重篤な合併症ある方で手術療法が受けられないような患者様でも、小線源治療を受けられる場合もあります。

もっと前立腺小線源治療についてお知りになりたいという方のために、当院泌尿器科のホームページに「密封小線源治療」を開設しておりますのでどうぞご覧下さい。また、毎週火曜日午後専門外来「前立腺小線源治療外来」をオープンしています。外来は事前予約制となっておりますので、受診を希望される方は泌尿器科外来か地域連携センターで受診の予約を取った上でお出下さい。



新病院情報システムについて

医療情報部副部長 山下 芳範

本院では、今年の4月から新しい病院情報システムに順次切り換えを行い、今年度末までに計画している機能の全てを実現する予定です。新しい病院情報システムでは、「電子カルテ」を中心とした、大幅な診療情報の電子化が行われます。

患者様にとって大きく変わった部分としては、4月から会計計算が、5月から診療関係が新しいシステムとなっています。切り換えに伴いまして、患者様には大変ご不便やご迷惑をおかけした点もあるかと思いますが、この新しい病院情報システムでどのような点が変わっていくかを紹介させていただきます。

今回の病院情報システムでは、外来での受付から会計までの流れも大きく変わっており、受付で発行した受付票に番号を記載し、診療・検査・会計における呼び出しに利用するようになりました。また、診療・検査・会計の待合には、表示板を設置し、番号による呼び出しに対応するようにしています。この番号が記された受付票には、患者様がその日にある診療や検査などがどのような順番になっているかを管理していますので、どのような診療や検査がどの順番にいつあるかがわかるようになっています。患者様が来院されてから、できる限りスムーズに診療や検査を受けていただけるようこのような方法を導入いたしました。

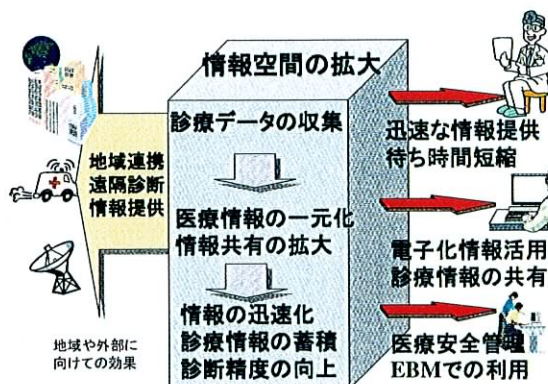
新しい病院情報システムでは、患者様から直接見えない部分についても新しくなっております。この中のいくつかをご紹介します。

病院の中では多くの電子化された情報があります。検査や処方など診察室で申し込みをするのも電子的な情報でオーダーエントリーと呼ばれます。今回のシステムでは情報伝達を短くすることだけでなく、小型の携帯端末を利用して、必要なときに間違いがないかをオンラインでチェックします。また、注射や輸血などは、患者様に間違いがないかというチェックとともに、いつどのように行ったかも記録するようになっています。これらは、安全に医療を行うために間違いがないかをチェックする安全対策としても利用しています。例えば入院中の患者様であれば、装着をお願いしていますリストバンドのバーコードと薬品に貼付したバーコードや書類に印刷されたバーコードと照合を行うことで、間違いを未然に防止します。このようなチェックだけでなく、同時に記録が行われ、今回のシステムではより多くの診療に係わる情報を電子的に取り扱います。このように診療に係わる情報を電子的に取り扱うのが「電子カルテ」と呼ばれるものです。従来は紙に記録していた内容についても電子的な記録として、医師だけでなく、看護師や技師などのスタッフの記録も電子的に行います。

電子的な記録は従来の紙の記録と何が違うのか？電子的な情報はどのような利点があるか？という疑問を持たれる方も多いと思います。本院では新しいシステムでの効果として図2のような利用を考えています。診療においては、常に患者様の最新の情報が必要となっています。検査の結果だけでなく、医師以外のスタッフからの情報も必要となります。電子的な情報を利用すれば、このような情報が一元的に取り扱うことができ、電子カルテの画面から一覧することができるようになります。これにより、診療の現場で必要な情報が迅速に利用できるようになります。紙の記録であると、これらを集めたり運んだりすることが必要ですが、このような作業が不要になります。また、診療では医師だけでなく多くのスタッフが担当します。これらのスタッフも最新の情報を必要としますし、共同して診療にあたるので、的確な情報が迅速に伝達される必要があります。このようにときに必要な情報が必要ところで利用できるようになります。このような診療の情報がいつでもどこでも利用できることは、より安全で、より信頼性の高い医療を提供するための要素として役立つこととなります。



新しい電子カルテシステム



新病院情報システムの目的

国のIT化政策であるe-japan計画においても医療のIT化推進が重点分野として取り上げられています。ですので、本院だけでなく他の医療機関でもこのような電子化が進んでいくと思われます。しかし、最近ではこのような情報化の脅威となるような事件も多く発生するようになっていきました。本院では、このような電子化の推進だけでなく、情報の安全化対策も行っています。新しい病院情報システムでも、多くの情報安全対策を講じており、医療の記録を確実に行うための電子署名と呼ばれる最新の技術も取り入れています。これは近い将来、地域連携などへ拡大しても、より高度な情報の安全対策を意識したもので、大切な患者様の個人情報の保護にも十分対応ができるものです。

このような、医療情報のIT化は、大学病院の使命である教育や新しい医療への取り組みも寄与できるものであり、本院の理念である「最高・最新の医療を安心と信頼の下で」を支えるものとなります。

臓器別診療の開始について

福井大学病院は、本年4月より臓器別診療を開始しましたのでお知らせします。

なお、受診にあたり、ご不明な点につきましては、福井大学医学部附属病院のホームページ [http://www1.fukui-med.ac.jp/home/ufh/index.html]、医療サービス課 TEL：0776-61-3111(代)外来担当 内線（3134,3135）/総合案内（3157,3158）をご利用願います。

[診療科一覧]

部門名	診療科名	部門名	診療科名
内科部門	血液・腫瘍内科	感覚・皮膚・運動部門	皮膚科
	感染症・膠原病内科		整形外科・脊椎外科
	神経内科		リハビリテーション科
	消化器内科		眼科
	内分泌・代謝内科	成育・女性医療部門	耳鼻咽喉科・頭頸部外科
	呼吸器内科		歯科口腔外科
	腎臓内科		小児科
	循環器内科		産科婦人科
外科部門	一般外科	脳・神経精神部門	神経科精神科
	消化器外科		脳脊髄神経外科
	乳腺・内分泌外科		麻酔科蘇生科
	心臓血管外科	総合診療部門	放射線科
	呼吸器外科		総合診療部・総合内科
	泌尿器科		救急部

専門外来・その他

中高年女性総合外来、痛みと漢方外来、ピロリ外来、アスベスト・中皮腫外来、禁煙外来
セカンドオピニオン外来、腫瘍ドック、脳ドック

お肌に優しいスキンケア

創傷・オストミー・失禁看護認定看護師 前田 友美



私は、2005年8月に、創傷・オストミー・失禁看護認定看護師として認定されました。褥瘡（じょくそう）や人工肛門などに専門的に携る看護師として、活動を行なっています。また、福井大学医学部附属病院では6人目の認定看護師として、活動しています。

手術などによりベッド上安静を必要とする患者様、低栄養で骨が出ている患者様など、褥瘡ができる危険が高い患者様に対し、各病棟の看護師と連携を取り、褥瘡発生予防に努めています。また、褥瘡がある患者様に対しては、医師、看護師、薬剤師などで構成された褥瘡対策チームの一員として週1回の褥瘡回診を行い、治癒にむけてケアを行なっています。回診時には、日々患者様と関るスタッフへ洗浄方法やおむつの当て方、体位変換の方法など、褥瘡を悪化させない、そして新たに作らないように指導を行なっています。そして、患者様にも褥瘡ができていることをお伝えし、一緒に治療に参加してもらっています。患者様によくなったことをお伝えすると、「よくなってきましたか？横を向くように言われてから、ちゃんと横を向いて動いていましたからね」と、嬉しそうに言われる方もいらっしゃいます。褥瘡は患者様に痛みを与えるばかりではなく、一度できると治るまでに時間がかかり、治療のために入院期間も延びてしまいます。そのため、少しでも患者様の苦痛を減らすよう、活動しています。

皆さんは、「スキンケア」について、意識されたことはありますか？普段なにげなく行なっているスキンケアですが、ちょっとしたことで健康な肌はより健康に、傷付いた肌も痛みが少なくケアを行なえ、早く治すことができます。そこで、いくつかのコツをお話させていただきます。



<石鹸は泡立てましょう>

石鹸は、固形や液体のままでは汚れは落ちません。「泡」の状態になって、始めて汚れが落ちる状態になります。ですから、面倒でも、きちんと泡立てることが重要です。

<ごしごし洗いすぎない>

タオルで身体をごしごしとこすると、気持ちがよく、汚れも落ちたように感じますね。でも、こすりすぎは禁物です。肌の表面には、「皮脂膜」という油の膜があります。これは、乾燥肌の予防や、細菌侵入阻止を行なってくれています。洗いすぎると、大事な「皮脂膜」を除去してしまうため、乾燥肌になり傷付きやすくなってしまいます。日常生活の汚れ程度であれば、指で身体にのせた泡をなでるだけで、汚れはきれいに落ちます。

<身体を拭くときも、優しく>

顔を洗った後、お風呂に入った後、タオルでごしごしと拭いていませんか？タオルは柔らかいように感じますが、肌にとっては硬いものです。きれいに洗った肌を傷つけないためにも、優しく押さえるように拭きましょう。

<オムツもいろいろ>

最近、下痢便専用のオムツが販売されました。ドロドロとした便であればオムツに吸収され、オムツの中が便であふれることもなく、

お尻に便の付着も少なくてすみませす。尿とりパットは尿専用にてきています。それぞれの特徴を知った使い方をしませす。

＜肌を汚れから保護する＞

皆さんは、下痢でお尻が真っ赤になつた、ウォシュレットがないから痛みを我慢して拭く…という経験が1度はあると思ひます。

ひどくなる前に、ちよつとケアをしてあげることで、随分と苦痛がなくなります。

汚れを取るには洗浄が必要ですが、洗ひすぎは禁物です。そこで、肌につれがつかないように「皮膜」を作つてあげませす。



薬局などにおしりの清浄剤が販売されています。お湯に薄めて使用するもの、ティッシュにスプレーするもの、シートタイプのものがあります。スプレーの代わりに、ベビーオイルでも代用できます。下痢をしだした時、これらを使用すると、お尻が真っ赤になつてヒ

リヒリすることがなくなります。また、肌の上に皮膜ができているため、お湯で洗ひ流すだけで便は流れ落ちてしまひます。在宅で介護されている方、オムツを使用されている方などは、スキントラブルを予防するためにも、日頃から使用しておくのもよいでしょう。

人工肛門とは、腸や膀胱などに病気ができ、排泄物を体外へ出すことができなくなった場合、手術でお腹に尿や便の出口を作ひます。そのため、お腹に排泄物を受け止める「袋」を装着する必要があります。患者様の希望にに応じた袋を選択し、日常生活に戻るためのお手伝ひをしています。退院後は活動量や体重が変化することなどもあり、選択した袋が合わなくなる場合があります。そこで、退院後は在宅指導相談室に通院していただき、生活で困っていることはないか、皮膚にトラブルがないか、装具はあつているかなどを確認させてもらっています。



患者様が入院中だけでなく、退院後も安心して生活できるよう、今後もよりよい看護を提供できるように頑張りたいと考えております。

福井大学病院へのアクセスが便利になりました

えちぜん鉄道松岡駅と福井大学病院間の利用者のアクセスを確保するために、昨年11月から5ヶ月間無料の直通バスを平日のみ施行運転しましたが、本年4月からは京福バス株式会社による路線バス(運賃100円)として運行が引き継がれました。

また、従来の福井大学病院行きバスの便に加えて、新たに短時間で結ぶ福井駅前から松岡駅経由の37大学病院線が1日2往復運行されていますのでご案内します。

インターネットによる診療相談窓口の開設

福井大学病院では、インターネットによる患者様からの診療相談を受け付けています。

相談にあたっては、患者様からの情報の安全性を確保するため、福井大学医学部附属病院のホームページ「インターネットからの相談窓口 → Web相談窓口」

[<http://www1.fukui-med.ac.jp/home/ufh/index.html>]、をご利用願ひます。

皮膚科案内

皮膚科副科長 清原 隆 宏

1. 患者様および御家族の方へ

当科では全身の皮膚に出現するあらゆる病変を専門的に診断し、治療しています。

また、くちびるや口の中、外陰部、肛門などの外から観察できる粘膜病変についても扱っています。対象となる症状ですが、皮膚の異変全てです。かゆい、痛い、何か出てきた、出たり消えたりする、できものがある、などどんなことでも結構です。皮膚は患者様でもみる事ができます。皮膚に何か出たり、皮膚に異常を感じたりしましたら、どんなことでもお気軽にご相談下さい。

対象疾患は以下に列挙しますが、記載しきれません。とにかく皮膚に出るもの全てと考えていただければ結構です。



湿疹・皮膚炎群（急性湿疹、慢性湿疹、接触性皮膚炎、脂漏性皮膚炎、アトピー性皮膚炎、乳児湿疹、小児乾燥性湿疹、皮脂欠乏性湿疹、乾燥性湿疹、間擦疹）、細菌感染症（尋常性瘡癤、毛囊炎、感染性粉瘤、伝染性膿痂疹、皮膚結核、ハンセン病）、真菌症（頭部白癬、体部白癬、股部白癬、足白癬、爪白癬、皮膚カンジダ症、爪カンジダ症、乳児寄生菌性紅斑、カンジダ性指趾間びらん症）、ウイルス感染症（水痘、带状疱疹、麻疹、風疹、突発性発疹、伝染性紅斑、伝染性単核球症）、角化症（魚鱗癬、掌蹠角化症）、炎症性角化症（尋常性乾癬、膿疱性乾癬、掌蹠膿疱症）、水疱症（尋常性天疱瘡、落葉状天疱瘡、水疱性類天疱瘡）、紅斑症（多形滲出性紅斑、結節性紅斑）、膠原病（全身性エリテマトーデス、皮膚筋炎、強皮症、シェーグレン症候群）、薬疹、母斑症（レックリングハウゼン病、プリングル病）、母斑（色素性母斑、青色母斑、ポートワイン母斑）、皮膚良性腫瘍（脂漏性角化症、老人性黒子）、皮膚悪性腫瘍（皮膚癌、悪性黒色腫）、皮膚悪性リンパ腫

～他にもまだまだあります。

2. 患者様および関連病院の先生方へ

当教室では皮膚疾患全般について取り扱っていますが、その中から、特徴的なものをいくつか紹介します。

- 1) **皮膚病理診断**：当教室の中心研究分野であり、国内の多くの大学病院や一般病院から診断依頼を受けています。日常診療において重要なのは、何よりも正確な診断であることは言うまでもありません。診断が間違っていれば、治療はうまくいかないどころか、かえってマイナスの結果をもたらすこともあります。当教室ではあらゆる病理診断手法を用いて、正確な診断を心がけています。
- 2) **ダーモスコピー**：皮疹を10から30倍に拡大して観察することができます。皮膚にゼリーをたらしてレンズを押し当てて観察するだけです。苦痛や後遺症などはありません。色素性病変の鑑別に極めて有効で、皮膚を傷つけるなどの検査をしなくてもかなりの精度で正確な診断ができます。
- 3) **皮膚外科**：皮膚良性腫瘍、母斑・血管腫、皮膚癌、瘢痕・ケロイド、熱傷、難治性潰瘍、外傷などを取り扱っています。先刻の正確な診断に基づき、ガイドラインに則った標準的な治療を心がけています。
- 4) **パッチテスト**：接触皮膚炎や薬疹などの原因を検索するための検査です。原因不明の皮膚炎に悩まされている患者様の原因が解明でき、劇的に症状が軽快する例もあります。

検査のためには月曜日に来院していただき、その週の水曜日、木曜日と来院していただき、できれば次の週の月曜日にも来院していただく必要があります。

- 5) **薬疹カードの発行**：薬疹患者様には原因薬剤、あるいは原因が疑われる薬剤をカードに記載して渡し、今後、薬疹を繰り返さないように指導しています。
- 6) **紫外線療法**：従来までの長波長紫外線を利用したPUVA療法に代わる治療法として311～312nmに分布する非常に幅の狭い波長を利用するnarrow-band UVB療法を積極的に施行しています。白斑、乾癬、アトピー性皮膚炎などに有効性が認められており、実際の手技も簡便で患者様の負担も少ないです。福井県では（把握している限り）、narrow-band UVBを照射できる施設は当科のみであり、治療に難渋している場合には来院していただければと思います。

以上、診療の一端を紹介いたしました。皮膚のことなら‘迷わず、気軽に’相談していただければ幸いです。



患者様の声への御返事



◎オムツ交換のできるお手洗いについて

医療サービス課

患者さまからの要望

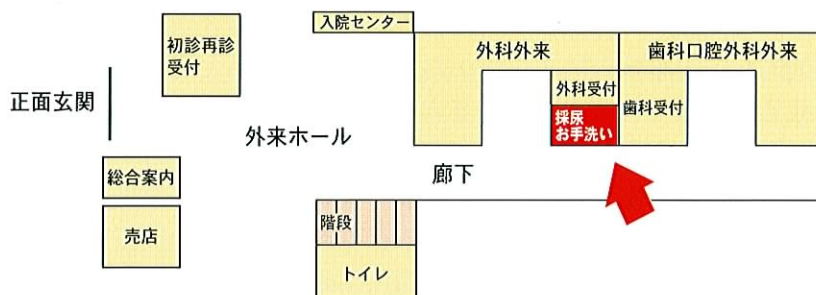
障害者用のオムツを交換する場所がなく困っています。現在は、小児科のベッドで交換していますが、はずかしさもあり、トイレ内に設置して欲しいです。

御返事

患者さま付き添いの方へ

診療棟1階の外科外来と歯科口腔外科外来との間に「採尿お手洗い」があります。このお手洗いには、折りたたみ式ベッドを備え付けてあり、オムツ交換等ができるようになっています。利用される際には、お手数ですが外科外来窓口までご連絡ください。

**折りたたみ式ベッド設置
採尿お手洗いの場所**



がん専門薬剤師研修事業研修施設として認定されました

財団法人 日本病院薬剤師会が実施するがん専門薬剤師研修事業における研修施設として福井大学附属病院が認定されました。

ISO 9001:2000の認証更新

平成15年9月に「医療サービスの提供」により国立大学医学部附属病院として認証取得して以来、有効期限の3年目となるため、審査登録機関による更新審査が、7月26日（水）から28日（金）の3日間にわたる日程で実施されました。

審査の結果、組織の品質マネジメントシステムがISO 9001:2000年版に適合していることが確認され、審査登録機関に対して認証の更新を推薦することが審査チームにより決定されました。

これからも、品質方針のとおり「職員全員で継続的な改善を重ね、患者様に安全で質の高い医療を提供する」ことを目指して努力してまいりたいと思います。

光学医療診療部の診療案内

光学医療診療部副部長 山崎幸直

光学医療診療部では消化管内視鏡（いわゆる胃カメラ、大腸カメラ）および気管支鏡を使用した診療を行っています。消化管内視鏡検査では食道・胃・十二指腸・小腸・大腸の内腔を直接、内視鏡で見て病気（食道がん、食道ポリープ、逆流性食道炎、食道静脈瘤、胃がん、胃ポリープ、胃潰瘍、胃炎、十二指腸がん、十二指腸ポリープ、十二指腸潰瘍、十二指腸炎、小腸がん、小腸ポリープ、小腸潰瘍、大腸がん、大腸ポリープ、大腸憩室、潰瘍性大腸炎、クローン病、虚血性大腸炎、腸結核など）を診断します。また、ERCP（内視鏡的逆行性膵管胆管造影）検査では内視鏡を通して造影剤を胆管や膵管に注入し、肝臓、胆のう、胆管、膵臓の病気（肝内胆管がん、肝内結石、肝膿瘍、胆のうがん、胆のうポリープ、胆のう結石、胆のう炎、胆管がん、総胆管結石、胆管炎、膵がん、膵石、膵炎など）を診断します。気管支鏡検査では気管支、肺を直接、内視鏡で見て病気（肺がん、気管支ポリープ、肺炎など）を診断します。この他に超音波内視鏡検査では主に消化管、胆のう、胆管、膵臓、気管支、肺における腫瘍の大きさや拡がりなどを内視鏡先端から出す超音波で診断します。



内視鏡診療では病気の診断だけでなく治療も行います。最近ではESD（内視鏡的粘膜切開剥離法）にて従来法では切除できなかった早期胃がんを内視鏡にて確実に切除します。消化管のがんは早期に発見されさえすれば、そのほとんどが内視鏡で切除できます。内視鏡で切除可能な早期がんの発見にはバリウムによるレントゲン検査よりも内視鏡検査の方が有用です。年1回の定期的な内視鏡検査は消化管がんによって命を落とす危険性を確実に低下させると言えます。その他には出血性胃・十二指腸潰瘍や食道静脈瘤破裂などによる吐血・下血を内視鏡にて止血します。また、総胆管結石による腹痛・発熱・黄疸にはERCP検査を応用した治療手技にて結石を十二指腸内に取り出します。がんなどによる胆管閉塞に伴う黄疸には胆汁の流れを回復させるステント（金属の筒あるいはプラスチックの筒）を胆管内に留置します。気管支鏡では気管支出血に対して止血を行ったり、がんの浸潤による気管の狭窄に対して狭窄部を拡張させるステント（金属の筒）を留置します。内視鏡治療は外科的手術に比較して極めて低侵襲であり、術後の生活への影響も少なく、患者様にとっては福音であると言えます。

これらの内視鏡検査・治療は消化管内視鏡検査は消化器内科、消化器外科、気管支鏡検査は呼吸器内科、呼吸器外科が担当します。

上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）とS状結腸内視鏡検査（浣腸で前処置をして主にS状結腸まで観察する）は月曜～金曜日の午前中に行っています。予約検査以外に当日検査も可能な限り行いますので、特に胃カメラを希望される患者様は当日の朝食は食べずに受診してください。全大腸内視鏡検査（大腸カメラ）およびERCP検査（入院が必要）は月曜～金曜日の午後に行っており、消化器内科もしくは消化器外科外来にて検査予約します。気管支鏡検査は月曜～金曜日の午後に行っており、呼吸器内科もしくは呼吸器外科外来にて予約します。各種超音波内視鏡検査は月曜～金曜日の午後に行っており、各担当科外来にて予約します。各種治療内視鏡は原則的に入院が必要ですので各科外来にて入院予約も併せて行います。

福井大学医学部附属病院光学医療診療部では最新の内視鏡機器を使用し、患者様に常に安全かつ安楽で良質な内視鏡診療を提供することを心がけております。

出 来 事 [平成18年3月～平成18年8月]

- 3月7日(火) 病院運営諮問会議
時 間：13：30～15：30
場 所：ユアーズホテルフクイ
-
- 3月15日(水)、16日(木) ISO9001：2000第5回継続審査
審査機関：BSIジャパン株式会社
15日(水)管理責任者、経営企画課、医療安全管理部、
脳神経外科(外来)、第一内科(外来)
16日(木)西病棟7階引継、検査部、病理部、第二外科
(外来)
-
- 3月23日(木) 附属病院運営委員会
時 間：15：00～17：30
場 所：松岡キャンパス 管理棟3階大会議室
-
- 3月28日(火) 第2回 医療安全管理部全体研修会
時 間：16：15～リスクマネージャー対象に実施
17：30～、18：00～、18：30～(3回)
病院関係全職員対象に実施
場 所：臨床大講義室
テーマ：2006年4月1日、「医療安全管理体制」が変更
「患者とあなたを守る体制が変わる」
-
- 3月29日(水) 平成18年度診療報酬改定の説明会
時 間：18：00～19：00
場 所：臨床大講義室
内 容：「平成18年度診療報酬改定に伴う改正内容説
明と今後の対応について」
講 師：林病院長補佐
-
- 4月1日(土) 総合医療情報システム更新(医事会計システム)
臓器別診療体制に移行
-
- 4月27日(木) 附属病院運営委員会
時 間：15：00～17：00
場 所：松岡キャンパス 管理棟3階大会議室
-
- 5月10日(木) 前立腺ガンに対する密封小線源治療を開始
(詳細は、掲載ページ参照)
- 5月15日(月) 総合医療情報システム(本稼動)
-
- 5月25日(木)～26日(金) 全国検査部会議
場 所：福井ワシントンホテル
-
- 6月1日(木) 附属病院運営委員会
時 間：15：00～17：45
場 所：管理棟3階大会議室
-
- 6月16日(金) 平成19年度福井大学医学部附属病院卒後
臨床研修説明会
時 間：17：30～
内 容：1. 福井大学病院の臨床研修について
2. 三年目以降の専門医研修について
3. 研修医からのメッセージ
4. 質疑応答(各診療科Dr.及び研修医)
場 所：臨床大講義室
-
- 6月17日(土)～18日(日) ISO9001：2000内部監査員養成講習会
時 間：8：30～17：00
場 所：管理棟大会議室
講 師：ジーエムエス研究所所長 江田 繁晴
-
- 6月20日(火) 放射線作業にかかる教育訓練(更新登録者対象)
時 間：17：30～18：30
「前立腺癌に対する密封小線源治療について」
医学部泌尿器科学講師 大山 伸幸
医学部放射線医学講師 塩浦 宏樹
18：30～19：30
「安全取扱について」
RI実験部門 技術専門職員 川江 豊
場 所：臨床大講義室
-
- 6月26日(月) 福井大学医学部附属病院通院治療センター
開設1周年記念講演会
時 間：17：30～18：30
演 題：「国立がんセンター中央病院における外来化
学療法の実際」
講 師：国立がんセンター中央病院 第一領域外来部
通院治療センター医長 藤原 康弘
場 所：臨床大講義室

6月28日(水) 平成18年度消防訓練 (松岡キャンパス)

- (1) 基礎訓練 10:00~12:00
- ・消火器の取扱訓練 10:00~
 - ・屋内消火栓の取扱訓練 11:00~
- (2) 総合訓練 15:00~16:00
- ・附属病院病棟の消防訓練 15:00~
 - 出火想定場所: 西病棟4階(第一外科)
 - 出火想定時間: 夜間の22:00を出火想定
 - ・講評 永平寺町消防本部 15:30~

6月29日(木) 附属病院運営委員会

時間: 15:00~16:40
場所: 管理棟3階大会議室

7月7日(金) 平成18年度医療安全管理部第1回講演会

時間: 17:30~19:05
テーマ: 「医療行為に関連した死亡の調査・分析モデル事業」とこれからの医療安全管理
講師: 東京大学大学院医学系研究科法医学教室 吉田 謙一教授
場所: 臨床大講義室

7月10日(月)~28日(金) 「放射線作業にかかる教育訓練」
【更新登録者対象】

日時: 平成18年7月11日(火) 19日(水) 28日(金)
場所: 総合実験研究支援センター1階会議室
日程: 13:30~15:30

【新規登録者対象】

日時: 平成18年7月10日(月)
場所: 総合実験研究支援センター1階会議室
日程: 9:30~17:30

【看護部対象】

日時: 平成18年7月18日(火)
場所: 管理棟3階大会議室
日程: 17:30~19:30

7月26日(水)~28日(金) ISO9001:2000更新審査

審査機関: B S I ジャパン株式会社
審査対象: 附属病院全体

7月27日(木) 附属病院運営委員会

時間: 15:00~17:00
場所: 管理棟3階大会議室

7月31日(木) メディカルサプライセンター活動状況等報告会

時間: 17:00~18:00
場所: 臨床大講義室
内容: 物流管理部の活動状況等について
ME機器管理部の活動状況等について
滅菌管理部の活動状況等について

8月2日(水) スキルアップセミナー

時間: 16:30~18:30 (講演1時間、討議1時間)
テーマ: 病院の財務戦略
場所: 管理棟3階大会議室
講師: 滋賀医科大学医学部附属病院 副病院長(経営・管理担当) 綿貫 祝生

8月6日(日) 平成19年度福井大学医学部附属病院後期
臨床研修医募集説明会

時間: 13:00~17:30
内容: 各専門分野(診療科)紹介
診療科別個別相談
場所: 看護大講義室、看護第2講義室

8月29日(火) 病院運営諮問会議

時間: 13:30~15:30
場所: ユアーズホテルフクイ

福井大学医学部附属病院

広報小委員会

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

